

日吉ダムの洪水調節（台風23号）について

- 管理開始以来、最大のダム流入量を記録 -

10月20日午後6時頃に近畿地方に再上陸した強い台風23号は、各地で暴風や豪雨による大きな被害をもたらしました。

淀川水系桂川の日吉ダム上流域では、前線と台風23号の影響により、10月19日3時から雨が降り始め、20日16時から17時に流域平均の1時間あたり最大雨量27mmを記録し、総雨量は238mmに達しました。

日吉ダムでは、この降雨の出水により、20日15時25分に洪水量（毎秒 150m^3 ）に達したため、洪水調節を開始し、20日19時48分に最大流入量毎秒約 856m^3 となりました。最大流入量に達した時刻のダムの放流量は毎秒約 148m^3 で、毎秒約 708m^3 を調節（ダムに貯留）し、約2,090万 m^3 の流水をダムに貯留しました。

今回の出水では、日吉ダム下流の亀岡（京都府亀岡市保津町）地点において警戒水位4.5mを超え、最高水位が6.32mとなりましたが、ダムが無かった場合には、浸水被害が拡大していたものと想定されます。

日吉ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダムの効果発現に努めて参ります。

